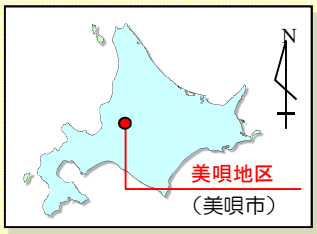
国営緊急農地再編整備事業

美唄地区



現　　状

本地区は北海道石狩平野のほぼ中央に拓けた水田地帯であり、水稲を主体に小麦、大豆、たまねぎ等の野菜を組み合わせた農業経営が行われている。

地区内では高齢化等による農家数の減少に伴い規模拡大が進む一方で、農業生産基盤は、ほ場区画が狭小かつ泥炭土壌に起因する泥濘（ぬかるみ）が生じ、さらには農地の分散化が進んでいるため効率的な機械化作業の妨げとなっているほか、排水不良を呈するほ場の影響により小麦、大豆などの収量や品質も不安定な状況にあるため、今後も農家数減少が見込まれる中で耕作放棄地の増加が危惧される状況となっている。

小区画なほ場

泥炭土壌に起因した
排水不良なほ場

田越しの連続による
不安定な水管理

事業の目的・概要

本事業では耕作放棄地の発生を未然に防止するため、水田を主体とする農地の区画整理を施行し、生産性の高い基盤の形成と土地利用の整序化を通じ、農業の振興を基幹とした地域の活性化に資することを目的としており、さらにはほ場の大区画化等に併せて水稲直播栽培をはじめとした先進的営農技術の拡大を推進することで、田畑輪換耕作による効率的な水田営農の確立を目指す。

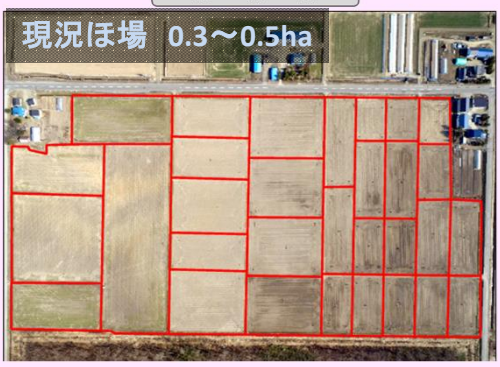
事業期間　：平成２５年度～
関係市町村：美唄市
地区面積　：１，８７４ｈａ
受益面積　：１，６８２ｈａ
受益戸数　：１３３戸
主要作物　：水稲、小麦、大豆、たまねぎ等
主要工事計画
　　：区画整理　１，６８２ｈａ

★雪蔵工房★　[JAびばい]
環境に優しい雪を活用し最適な環境
（5℃前後の温度と70%程度の湿度）
で貯蔵することにより新米の味を届ける

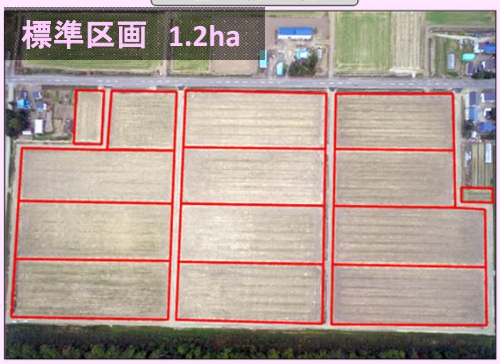
区画整理の効果

ほ場の大区画化による作業時間の削減

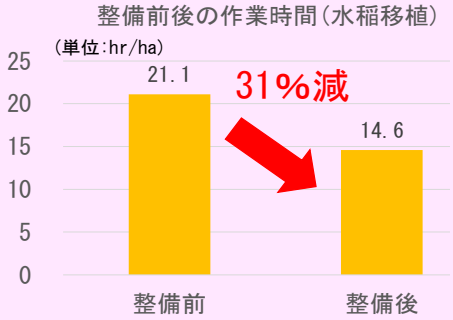
整　備　前



整　備　後

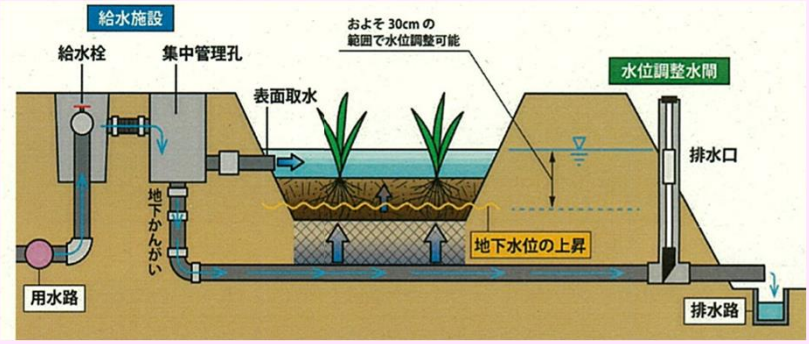


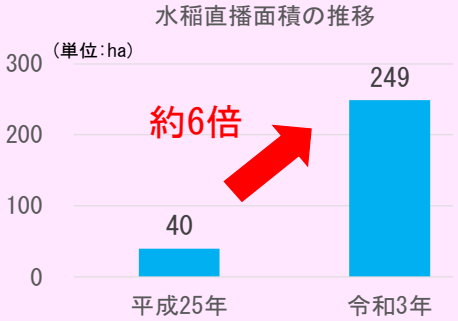
ほ場の大区画化により大型作業機械の導入も相まって農作業時間の削減が実現



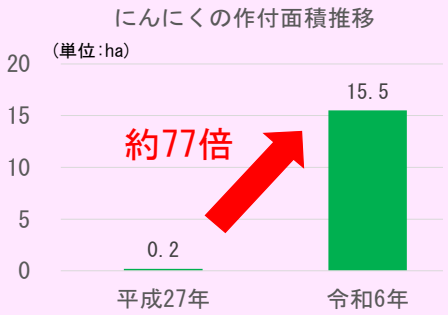
地下かんがいを契機とした省力化技術の普及

地下かんがいシステムの導入により水管理が容易となることで水稲直播栽培が増加するなど省力化技術が普及



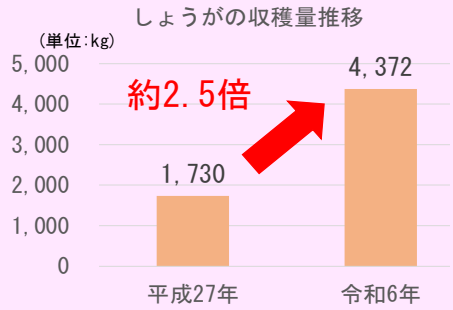


区画整理の施行によって耕作放棄地の未然防止に加え
余裕の生まれた労働力を活かした高収益作物へのシフトも実現



※美唄・美唄茶志内地区での面積

にんにくの商品化例
【黒にんにく】



※美唄・美唄茶志内地区での面積